

導 入
どう にゆう「伝統芸能もかっこいいかも？」
げいのう

私は日本語の授業で初めて「能」を観た時、ゆっくりした動きや低い声が続く歌い方がかっこいいとは思いませんでした。観ている途中で、「踊りも歌も静かだなあ。つまらないなあ」と眠くなってしまいました。でも、能の後で「狂言」を観て少し気持ちが変わりました。

私達が観た狂言は『くさびら』という話で、家の中にきのこがどんどん生え出して、困った村人が山伏に助けてほしいとお願いする話です。狂言は能より動きが大きくて、特に、きのこの動きや山伏の話し方がユーモラスだったので、観ていると楽しくなってきました。そこで、私はもう一度能を、今度は「この話は何を伝えようとしているのかな」と考えながら観直してみることにしました。すると、ゆっくりすぎると感じた動きや歌の意味が少し分かってきて、能も楽しめるかもしれないという気持ちになりました。

あらすじと感想
かんそう感じたことや
意見のまとめ

興味がなかったものを初めて観た時は、つまらないと感じてしまうことが多いと思います。でも、最初は面白くなくても、「これも勉強だ」と考え、理解してみようという気持ちを持って観続けていれば、新しい何かを見つけることができるのではないのでしょうか。私はこの自分の経験から、どんなことでもすぐに好きか嫌いかを決めてしまわずに、少しの間でも続けてみる事が大切なんだと考えるようになりました。